

STAFF



New Generation Tennis  
Junior Scout Caravan



2023.2.25、26

公益社団法人 日本プロテニス協会

2022年度 全体タイムスケジュール(スタッフ用) 2023年2月22日→26日

2月22日 (水)	2月23日 (木)	2月24日 (金)	2月25日 (土)	2月26日 (日)
	<b>【会場】</b> 穴生ドーム U10 三萩野庭球場 U12 桃園庭球場 U14	<b>【会場】</b> 穴生ドーム U10 三萩野庭球場 U12 桃園庭球場 U14	<b>【会場】</b> 穴生ドーム：決勝、三位決定戦 スカウトキャラバン	<b>【会場】</b> 穴生ドーム
7:00	7:00	7:00	7:00	7:00
				開場
8:00	8:00 開場 WEBエントリー & 体調確認入力 力締切 チェック	8:00 開場 WEBエントリー & 体調確認入力締切 チェック	8:00 開場	8:00 参加者受け入れ開始 8:50 整列
9:00	9:00 試合開始	9:00 試合開始	9:00 穴生：試合開始	9:00 体力審査開始
10:00			10:00 展示ブース設営 (公認企業様) スカウトキャラバンスタッフ集合 スカウトキャラバン スタッフミーティング	10:00 低学年、高学年別 ANA粗品交換開始14:00まで
11:00			11:00 スカウトキャラバン入場対応	11:00
12:00				12:00 体力審査 終了
	12:00 昼食 お弁当配布	12:00 昼食 お弁当配布		12:00 昼食
13:00	13:00	13:00 帰りのバス利用の確認	13:00 トーナメント表彰式 スカウトキャラバン受付開始	13:00 プロプレイヤーによる エキシビジョンマッチ レッスン (参加者全員) メーカーブース 14:00まで
14:00	14:00 各会場ANAの粗品交換対応	14:00 穴生：スカウトキャラバンの 参加賞準備	14:00 スカウトキャラバン開会式 チアリーディング演技	14:00
15:00		15:00 試合終了後三萩野、桃園は撤収し てのぼりを穴生ドームへ試合終了	15:00 高学年：プロ推薦 低学年：講義	15:00 表彰式 終了後選手解散 表彰者インタビュー撮影
		15:00 穴生学舎 講義準備 スカウトキャラバン観 覧席 座席設営		16:00 特別審査員解散
16:00		16:00 ゴーセンさんマシン移動	16:00 高学年：講義 低学年：プロ推薦	16:00 撤収作業 終了予定
17:00	17:00 穴生でスタッフミーティング	17:00 穴生スタッフミーティング	17:00 講義会場片付け プロ推薦選考ミーティング 体力審査設営	
18:00			18:00	
19:00	19:00 終了予定	19:00 終了予定	19:00 終了予定	

	区分	役職	氏名	22日(水)		23日(木)			24日(金)				25日(土)				26日(日)			
				運営	宿泊	運営	お弁当	受取場所	宿泊	運営	お弁当	受取場所	宿泊	午前	お弁当	午後	宿泊	運営	お弁当	反省会
1	スタッフ	副会長	渡辺 功	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1	1	1
2	スタッフ	副会長	杉山 愛														1	1		
4	スタッフ	理事長	藤沼 敏則	1	1	1	1	三	1	1	1	三	1	1	1	1	1	1	1	1
5	スタッフ	副理事長	横田 克則										1	1	1	1	1	1		
6	スタッフ	全国大会委員長	荒井 英樹	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1	1	1
7	スタッフ	ジュニア育成委員長	井上 丈士	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1	1	1
8	スタッフ	育成強化副事業部長	平沢 潤	1	1	1	1	三	1	1	1	三	1	1	1	1	1	1	1	1
9	スタッフ	育成強化副事業部長	茶園 鉄也										1	1	1	1	1	1		
10	スタッフ	プレイヤー委員会委員長	有本 尚紀										1	1	1	1	1	1		
11	スタッフ	ジュニア育成副委員長	石津 吏	1	1	1	1	桃	1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1	1	1
12	スタッフ	ジュニア育成副委員長	岡部 幸人	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1		
13	スタッフ	理事	境 敬行										1	1	1	1	1	1		
14	プロ	プロプレイヤー	本村 剛一										1	1	1	1	1	1		
15	プロ	プロプレイヤー	吉田 友佳											1	1	1	1	1		
16	プロ	プロプレイヤー	新井 麻葵											1	1	1	1	1		
17	プロ	プロプレイヤー	中野 佑美										1	1	1	1	1	1		
18	スタッフ	常務理事	富塚 拓彦	1	1	1	1	三	1	1	1	三	1	1	1	1	1	1	1	1
19	スタッフ	会員	小野 修七郎	1	1		1	穴	1	1	1	穴	1	1	1	1	1	1	1	1
20	スタッフ	ジュニア育成副委員長	吉田 真幸	1	1	1	1	桃	1	1	1	桃	1	1	1	1	1	1		
21	スタッフ	ジュニア委員	稲垣 正幸										1	1	1	1	1	1		
22	スタッフ	ジュニア委員	蔵野 毅											1	1	1	1	1		
23	スタッフ	ジュニア委員	松尾 茂生										1	1	1	1	1	1	1	1
24	スタッフ	ジュニア委員	村雲 重夫	1	1	1	1	穴	1	1	1	穴								
25	スタッフ	ジュニア委員	森山 純年										1	1	1	1	1	1		
26	スタッフ	ジュニア委員	伊丹 小百合										1	1	1	1	1	1		
27	スタッフ	会員	渋谷 一義										1	1	1	1	1	1		
28	スタッフ	会員	中村 仁隆										1	1	1	1	1	1		
29	スタッフ	会員	林 英樹						1	1	1	三	1	1	1	1	1	1		
30	スタッフ	会員	源河 朝哉											1	1	1			1	1
31	スタッフ	会員	有田 響							1	1	三		1	1	1			1	1
32	スタッフ	会員	江頭 昂																1	1

JR九州のスタッフは赤いジャケットを着用しています。お弁当配布、バス対応は基本的にJR九州が対応ですが、フォローをお願いします。

JR担当者 平野

タイム	穴生	役員	山東会長
	トーナメント 3決・決勝  井上,石津 女子連6名	スカウトキャラバン  渡辺副会長 藤沼理事長、横田副理事長	24前日入り NH3893 羽田発21:30 北九州着23:20着 協会手配タクシーでクラウンパ レスへ移動
7:30	7:45 トーナメントスタッフ移動 井上:荒井,藤沼 石津:GOSEN犬嶋さん、吉田 開場 富塚:平沢、竹内、山時、森		
8:00			
:30			
9:00	決勝対応:井上,石津 ボール拾い:学生 トロフィー目録賞品 準備:石津 賞状準備:森	9:15 スカウトキャラバンスタッフ 穴生へ移動 富塚:境,松尾,稲垣,渋谷,中村,林 森山:岡部,伊丹,佐藤 点呼:松尾,吉田 表彰式打ち合わせ:荒井、申アナウンサー	
:30		ホテルから 穴生ドームへ移動	
10:00	スカウトキャラバンスタッフミーティング 終わり次第受付準備 10:30プロ穴生へ移動 富塚:横田,茶園,有本,本村,蔵 プロ推薦用ボールセッティング:吉田,伊丹 キャスター9台の内、1台はグリーンボール 講義会場確認:平沢、竹内	3決・決勝戦 観覧  ご来賓対応  石黒様 公認企業 各メーカー	
:30			
11:00	スタッフ昼食 お弁当受取配布:JR+お弁当業者 関係各所へ配布:山時 お弁当ゴミは14:30まで プロ推薦:茶園、有本、本村プロ、吉田プロ、 新井プロ、中野プロ、荒井、境、松尾 昼食取りながらミーティング		
:30		昼食	
12:00	受付責任者:岡部 受付12:00~13:45 受付はあいうえお順 名前聞いて、IDカードを渡して、 参加賞バッグ、インゼリー配布 座席の配置を案内 GAORAの座席ローピングされてる箇所は試合終了後 に撤収		ホテル~穴生ドームへの移動  何時にどのようにするか決定 して、連絡予定
:30	チアリーダーイング 到着予定		
13:00	トーナメント表彰式 司会:申アナウンサー ネット2面撤去 指示:境 パナー交 換:稲垣 チアリーダーングリ ハーサル	トーナメント表彰式 前方に整列	13:00~15:00 穴生ドームに滞在  トーナメント表彰式  スカウトキャラバン開会式
:30			
14:00	14:00開会式 集合写真スタッフも入る 集合写真後、ご来賓とスタッフは終了 子どもたちはパナー側に移動して、座らせる 14:30 チアリーダーング演技	スカウトキャラバン 開会式 前方に整列 集合写真撮影	
:30			
	終了後、低学年は移動 誘導:富塚・山時 講義のプロジェクター対応:竹内 残りスタッフでネット張り		

		低学年	高学年	
15:00		講義 六生学舎 14:50~15:40まで 司会：申アナウンサー 講師：平沢 IMG古川氏	プロ推薦枠選考会 14:50~15:40 全体進行：境 フォロー：松尾	15:00 支援者の車で移動
:30				
16:00	チアリーディング控 え音楽室片付け :山時	プロ推薦枠選考会 15:50~16:50 全体進行：境 フォロー：松尾	講義 六生学舎 15:50~16:40まで 誘導：山時,学生2名 司会：申アナウンサー 講師：平沢 IMG古川氏	NH272 福岡発20:55 羽田着22:30
:30				
17:00		プロ推薦選考ミーティング 終了後、プロはホテルへ移動 富塚：茶園,有本,本村, 吉田,新井,中野	体力審査の設営 ミーティング	
:30				
18:00		スタッフはレンタカーとスタッフの車でアルクインへ移動 石津：吉田、山時、竹内 富塚：平沢、境、稲垣、渋谷、中村、林 森山：岡部、伊丹、佐藤 有田：松尾、蔵野 井上：藤沼、荒井、森		
:30				
19:00				

タイム	穴生	役員
		渡辺副会長、 藤沼理事長、横田副理事長
		杉山副会長
7:00	7:15 スタッフ穴生へ移動 富塚：境、渋谷、中村、吉田 石津：松尾、平沢 森山：岡部、伊丹、林 井上：藤沼、荒井、森 有田：葺野、稲垣 江頭：山時、竹内、佐藤	
:30	▼穴生集合 穴生ドーム開場	
8:00	受付対応：事務局、学生 7:30プロ穴生へ移動 茶園、有本、本村、 吉田、新井、中野 ジャンボタクシー手配	ANA NH241 羽田発 7:25 福岡着 9:30
:30	到着次第2階に荷物を置いて 8:50までに1階に整列するよう アナウンス	ホテルから 穴生ドームへ移動
9:00	高学年体力審査開始	会場内準備：各種目責任者の指示
:30		体力審査 観覧
10:00		タクシー移動 約1時間
:30	低学年体力審査開始	参加者へご紹介
11:00		メーカーブース・ ANA粗品対応 搭乗証明書を持っ てきた人に粗品交 換 14:00まで対 応：事務局
:30		トークショー打ち合わせ 昼食
12:00	トークショー	プロ、スタッフ昼食
:30	ネット張り	プロとエキシビジョ ンの打ち合わせ ：平沢
13:00	エキシビジョンマッチ 進行：平沢	
:30		エキシビジョンマッチの間は 平沢さんとトーク
14:00	クリニック 進行：松尾 フォロー：境 クリニック前に、高・低 それぞれ集合写真 高学年 13:30~14:15 低学年 14:15~15:00	表彰準備：石津、平沢、岡部、富塚 採点最終チェック：荒井、井上 のぼり撤収作業指示出し：松尾 撤収：学生
:30		クリニック低学年 開始前に高学年と集合写真 全体コートを回る 続けて高学年
15:00	表彰式 参加者を開会式と同様に整列させる 担当：境 司会：申アナウンサー	表彰式 前方に整列
:30	審査表の配布、ゼッケン回収、入賞者の写真撮影、撤収作業 全体ゴミ拾い	表彰式前方に整列 最後に一言ご挨拶
16:00	プロ解散16:00発 福岡行きジャンボタクシー：杉山夫妻、吉田プロ、新井プロ	
:30	スタッフ全体で 佐川発送、ゴミ回収	タクシー移動 約1時間
17:00	役員 アルクイン反省会	
		NH266 福岡発 18:45 羽田着 20:20



撤収時、この椅子のテープははがさないでください。

スタッフ移動配車

## 25日アルクイン→穴生

時間	運転	乗車予定
7：45発トーナメント担当	井上	荒井、藤沼
	石津	GOSEN犬嶋さん、吉田
	冨塚	平沢、竹内、山時、森
9：15発	冨塚	境、松尾、稲垣、渋谷、中村、林
	森山	岡部、伊丹、佐藤
10：30発 プロ	冨塚	横田、茶圓、有本、本村、蔵野

## 25日 穴生→アルクイン

終了後 プロ	冨塚	茶圓、有本、本村、吉田、新井
	中野	
スタッフ設営終了後	石津	吉田、山時、竹内
	冨塚	平沢、境、稲垣、渋谷、中村、林
	森山	岡部、伊丹、佐藤
	有田	松尾、蔵野
	井上	藤沼、荒井、森

## 26日 アルクイン→穴生

7：15発 全スタッフ	冨塚	境、渋谷、中村、吉田
	石津	松尾、平沢
	森山	岡部、伊丹、林
	井上	藤沼、荒井、森
	有田	蔵野、稲垣
	江頭	山時、竹内、佐藤
7：30発 プロ	ジャンボタクシー	茶圓、有本、本村、吉田、新井
	中野	

※26日に帰るスタッフはチェックインを済ませて荷物を持って移動

※あくまでも予定になりますので、変更があればお互いに声を掛け合って、乗り忘れの無いようお願いいたします。

2022年度NGT全国大会 役割分担表

役割	責任者	内容・補足
総責任者	荒井	全て
トーナメント	井上、石津	ドローミーティングや参加者の過去1年間実績を調べてシード案作成等。
設営	岡部	大会本部、公認企業の配置等。 のぼり設営箇所の指示バナー掲示確認。
賞品チェック	平沢・石津	トーナメント、NGT表彰式用に準備 目録、トロフィーも
賞状	森	賞状作成
スカウトキャラバン	荒井・境・松尾	体力審査・クリニック等全体を把握。
式典	荒井	トーナメント・NGT両方の開会式、表彰式、閉会式担当。
式典時整列	境	NGT開会式、閉会式時、スタッフへ子供の整列指示
25日受付対応	岡部	NGT受付時 スタッフ配置、対応指示出し、参加賞チェック
25日プロ推薦	茶圓・有本	プロ推薦者の選出
ボール	吉田・伊丹	プロ推薦、クリニックでのボール配置担当、セットボール販売
26日入場確認	竹内・山時	入場時の体調管理入力チェック
26日体力審査	荒井・境・松尾	体力審査の総まとめ
体力備品チェック	松尾・森山	ボール空気、その他確認
26日体力審査数値	井上	
演技時のコート設営	境	開会式前のネット撤収、設営指示出し
スタッフの移動点呼	松尾・吉田	
26日エキシビジョン	申アナウンサー	進行、トーク
26日午後クリニック	進行：松尾 フォロー：境	
ご来賓対応	渡辺副会長、藤沼、横田	
お弁当、コーヒー	竹内、山時	ご来賓・スタッフのお弁当管理
		参加者のお弁当はJRが対応
メーカー抽選会	竹内・森	メーカーブースフォロー 指示出し



## スカウトキャラバン参加賞バッグ 159個

種類	部数
全国大会プログラム	1冊
GAORA放送案内	1枚
IMGアカデミー チラシとメールアドレス登録	各1枚
写真販売の案内	1枚
北九州観光案内	1種類
カイロ	2個
参加賞Tシャツ	サイズ確認
ゼッケン	名簿で確認
全国大会記念Tシャツ	購入者のみ
読売新聞 KODOMO新聞	1部

北九州市の手提げ袋の上部にゼッケン番号とTシャツサイズを書いてあるラベルシールを貼り付け。

それに合わせて、Tシャツ、ゼッケンをセットする。

## 一般受付要領

受付	10：00頃から2階エントランス準備
受付時間	12：00～13：45
統括	岡部
スタッフ	

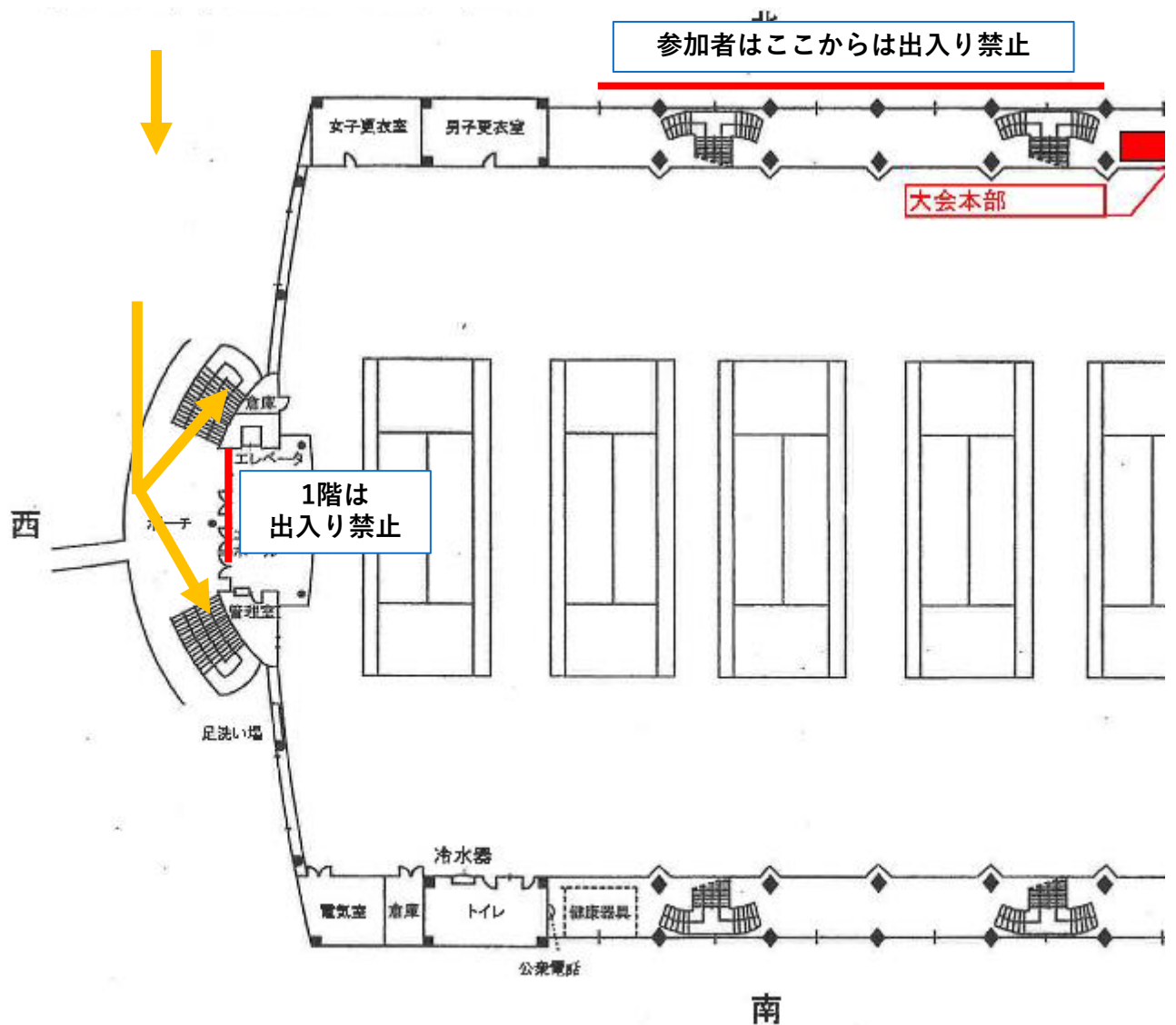
## 受付配布物

品名		
1	参加賞バッグ	参加賞Tシャツ、名札、ゼッケン番号とTシャツサイズを確認して、バッグに1セットにして、あいうえお順に並べておく
2	インゼリー	参加者に1個ずつ配布

## 受付手順

1	2階入口にて、名前あいうえお順に分かれた受付で、名前を聞いて、体調確認を入力後に受け取るメールを確認し、IDカードを配布
2	中央にインゼリーを配置してあるので、1個ずつ取らせて、参加賞バッグの並んでいる方へ誘導。あいうえお順に配置。左が名前あ行からさ行、右にた行以降に分かれてる。
3	指定の観覧席に座ってもらう。 バッグの中のTシャツとゼッケンを着用して、13：50までに1階に整列するようアナウンス
4	Tシャツのサイズ交換は若干は対応可能。 ラケット忘れには、協会のラケット貸し出し有り。

階段で2階エントランスへの矢印と  
参加者が体調確認を入力後に受け  
取ったメールを準備するよう掲示。



2階入口にて、名前のあいうえお順に分かれた受付で、名前を聞いて、体調確認を入力後に受け取るメールを確認。名簿で観覧席一覧のA～Fを確認。あいうえお順にA～Fまで6カ所に振り分けています。  
参加賞バッグもあいうえお順に配置。

### 体調確認入力後の受信メール

###tkna001###様

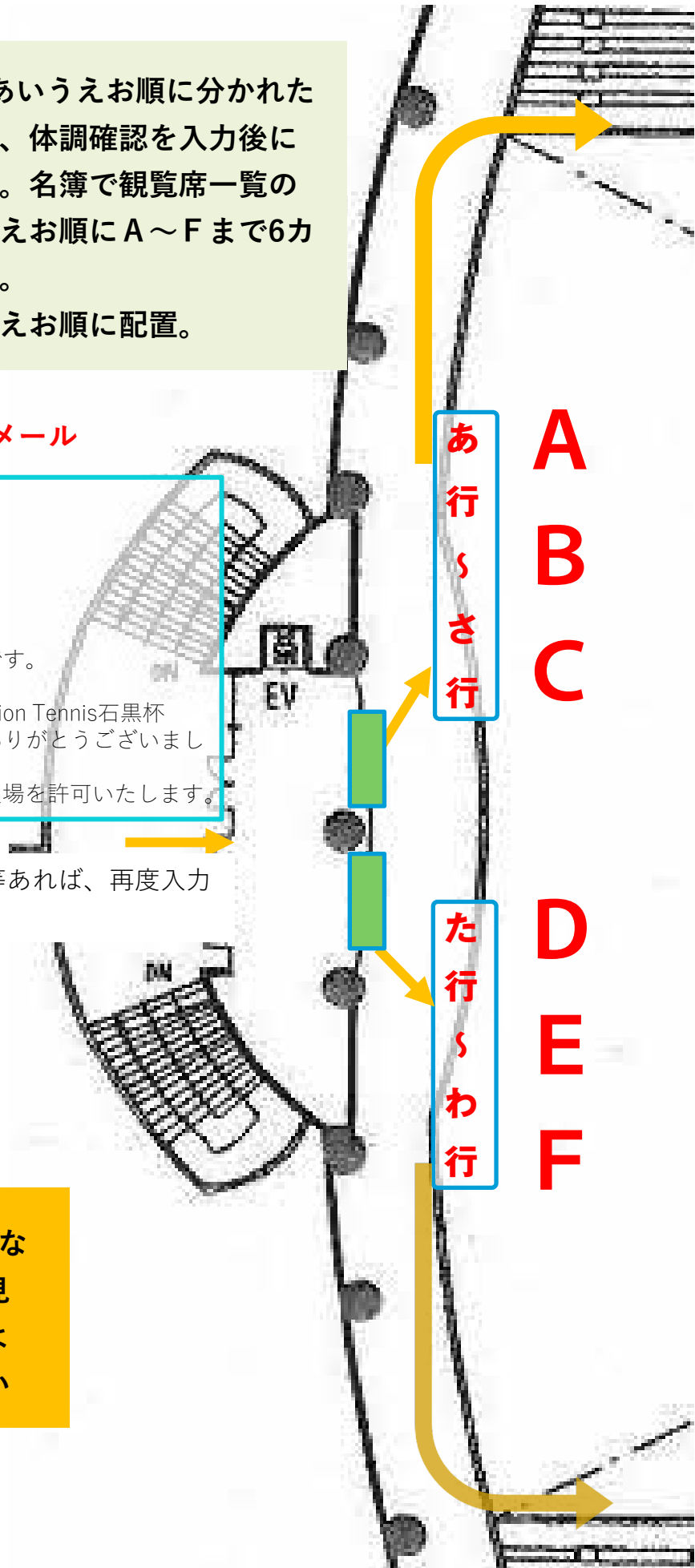
■—————□  
| 入場を許可します |  
□—————■

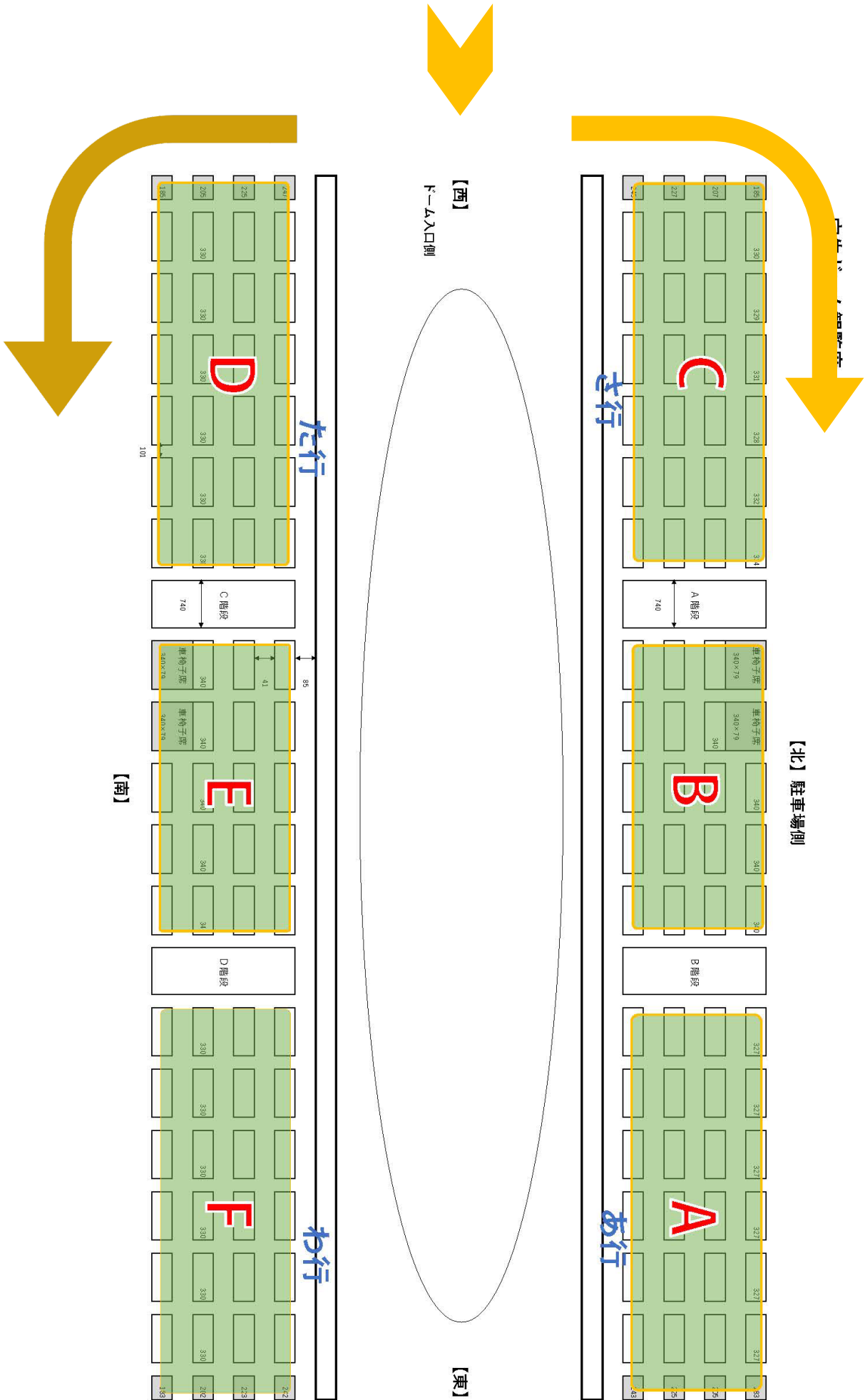
こちらは日本プロテニス協会です。

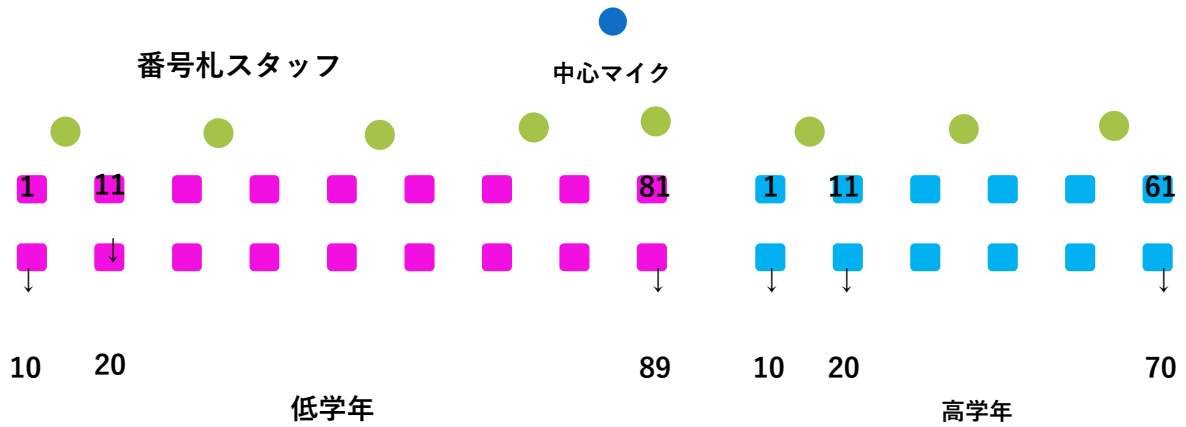
この度は2021年度New Generation Tennis石黒杯  
感染症対策にご協力いただきありがとうございました。  
この入力を持って、会場への入場を許可いたします。

もしメールが見当たらない等あれば、再度入力してもらう事は可能です。

階段に溜まると危険なので、後方の様子を見ながら、流れを促すよう気を付けてください







縦に10人ずつ

選手同士 縦横1メートル以上間隔を開けるよう気を付ける

開会式後、このまま後方に向きを変えて、集合写真撮影  
その後、チアリーディング観覧

### 2022年度スカウトキャラバン 参加者人数一覧

		男子	女子	合計
低学年	年長	4	3	89
	1年	11	5	
	2年	21	9	
	3年	26	10	
小計		62	27	

高学年	4年	11	21	70
	5年	10	8	
	6年	14	6	
小計		35	35	
				159

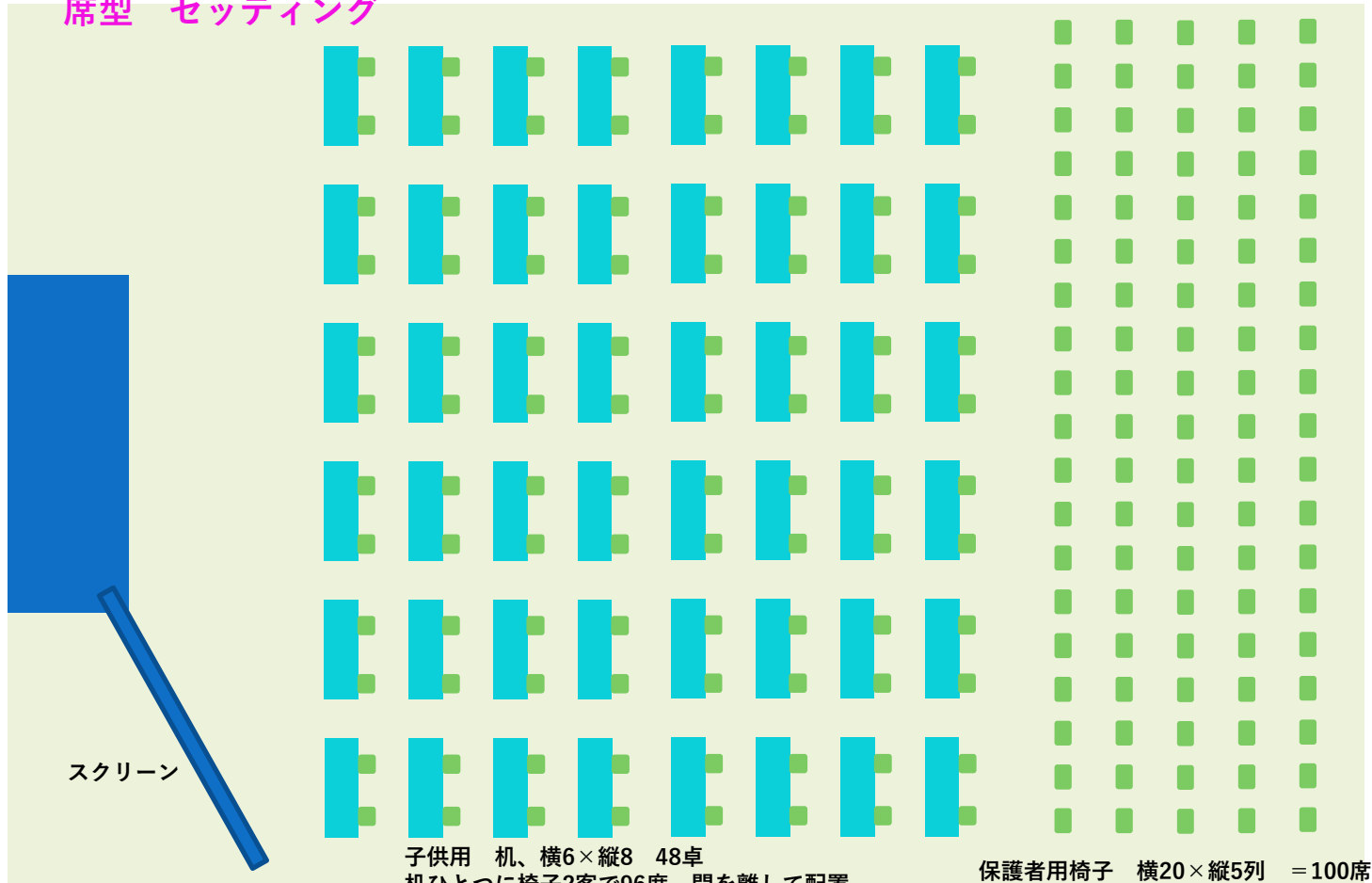
2023年2月25日（土） 14：00～14：45

会場：穴生ドーム 司会：申 アナウンサー

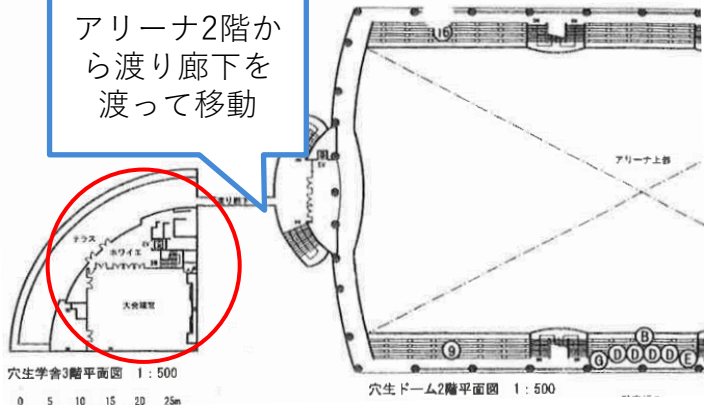
シーン	担当	
		プロ、スタッフ整列、選手誘導待機
開会の言葉	司会	ただいまより、ニュージェネレーションテニス石黒杯 第25回JPTAニュージェネレーションテニス ジュニアスカウトキャラバン全国大会開会式を行います。
会長挨拶		まずは公益社団法人日本プロテニス協会会長山東昭子（サントウアキコ）よりご挨拶です。
実行委員長挨拶	荒井	続きまして大会実行委員長荒井 英樹（アライ ヒデキ）よりご挨拶です。
ご来賓挨拶		セイコーウォッチ株式会社 代表取締役 副社長執行役員 石黒実様 （渡辺副会長からご紹介の流れで一言いただく）
ご来賓紹介		公益財団法人北九州市観光コンベンション協会 コンベンション誘致課長 稗田照之（ヒエダテルユキ）様 ヨネックス株式会社 竹森正道（タケモリマサミチ）様 株式会社ダンロップスポーツマーケティング 米山 豊弘（ヨネヤマトヨヒロ）様 ANA株式会社 木村 建一（キムラケンイチ）様 株式会社ゴーセン 東京支店長 犬嶋央（イヌジマヒサシ）様 IMGアカデミージャパン代表 古川雅士（フルカワマサシ）様 （読売新聞）
プロプレイヤー紹介		特別審査委員長 茶園 鉄也（チャエン テツヤ）より一言いただきます。 続いて、今回参加しているプロの方からも一言ずついただきます。順番 有本尚紀（アリモトナオキ）、本村剛一（モトムラゴウイチ）、吉田友佳（ヨシダユカ）、新井麻葵（アライマキ）中野佑美（ナカノユミ）
写真撮影		それでは全員で集合写真を撮影いたしますので スタッフの指示に従ってこちらにお並びください。 ご来賓とスタッフは撮影後解散 ネット張りの準備
チアリーディング演技		子どもたちはバナー側の方で座って観覧。チアリーディングはバナーに向かって演技
		以上で開会式を終わります 低学年は先に講義を行いますので、事前に配布された資料を持って穴生（アノオ）学舎へ移動をお願いします。 高学年の選手はプロ推薦枠選考会を開始いたしますのでラケットを持ってきてください。

# 穴生学舎（2/25 14：50～ 講義会場）

席型 セッティング



アリーナ2階から  
渡り廊下を  
渡って移動



目安の配置なので、現場で再確認  
高学年は70迄減らしてOK



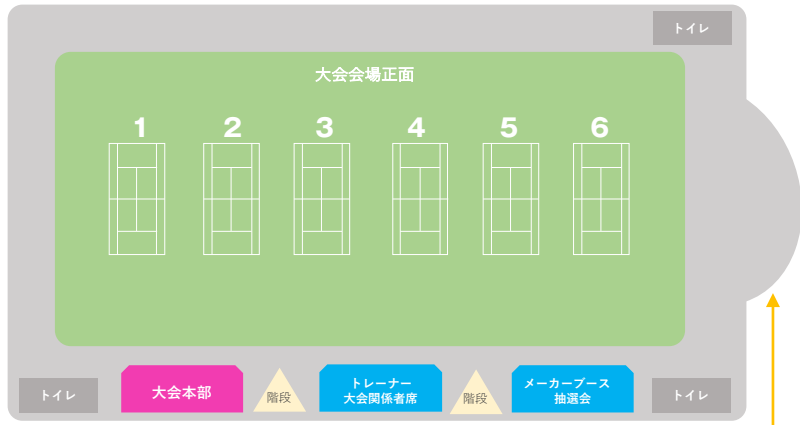
2階観覧席から渡り廊下を通過して穴生学舎3階の大会議室へ移動

司会：申アナウンサー

	時間	内容
低学年	14：50～15：25	平沢 潤
	15：30～15：40	IMGアカデミージャパン代表 古川雅士様
		移動
高学年	15：50～16：25	平沢 潤
	16：30～16：40	IMGアカデミージャパン代表 古川雅士様



進行：境  
フォロー松尾



高学年		14：50～15：40			選手70名		
コートNO		プロ	スタッフ	フォロー	選手ゼッケンNO	内訳	人数
1	茶園P	新井P	林	佐藤	1 - 11	男子4年	11
2		茶園P	蔵野	源河	12 - 23	男子5年6年	12
3		本村P	森山	岡部	24 - 35	男子6年	12
4	有本P	中野P	有田	稲垣	36-46	女子4年	11
5		有本P	中村	吉田	47-58	女子4年5年	12
6		吉田P	伊丹	渋谷	59-70	女子5年6年	12

低学年		15：50～16：50			選手89名		
コートNO		プロ	スタッフ	フォロー	選手ゼッケンNO	内訳	人数
1	有本P	中野P	有田	稲垣	1-12	男子、女子 年長、1年 グリーンボール	12
2		有本P	中村	吉田	13-15、63-70		11
3		吉田P	伊丹	渋谷	71-87	女子2年3年	17
4	茶園P	新井P	林	佐藤	88-89、16-30	女子3年 男子2年	17
5		茶園P	蔵野	源河	31-46	男子2年3年	16
6		本村P	森山	岡部	47-62	男子3年	16

低学年の年長と1年生はグリーンボールを使用する フォローはボールのケアと球拾い  
手の空いてる学生は球拾い

### 選考基準

バランス やる気 態度（目、立ち姿、表情） 気持ちの起伏（落ち込み）

メニュー	
10分	①ストローク、手出し、ラケット出し4球交代 フォアバックストローク
10分	②ネットプレー 手出し、ラケット出し3球交代 フォアバックボレースマッシュ
10分	③サーブ 全体
高学年15分 低学年20分	④ラリー プロとスタッフがラリーしているところを審査 プロは2面もしくは3面を交代で入る

## 体力審査 26日（日）午前 配置

- ・保護者の声かけ、1階に降りてくることはNGとする
- ・テニスシューズの徹底、ランニングシューズへの履き替えはNGとする
- ・マスクは体力審査の自分の番の時とプロ推薦、レッスンの時のコートに入った時に外してOK
- ・待機の際には所定の待機の場所で立たせて、その場でのアップなどをOKとする。
- ・デモンストレーションは必ず、グループ全体を集めて、一同に対して行う。OKパターン、NGパターンを十分に見せてから計測に分かれる。

## スタッフの心得

常に選手、保護者から見られていることを意識してください。

だらけたり、ポケットに手を入れる等、格好悪い行動はしないよう、

お互いに注意してください。

## Timeスケジュール

9:00～9:30	高学年	50m走、スパイダー、立ち幅跳び 3種目
9:35～10:05	高学年	ボール投げ、8の字ラン
	低学年	アップ
10:15～11:00	低学年	8の字ラン、ボール投げ
11:05～11:50	低学年	50m走、スパイダー、立ち幅跳び 3種目

選手グループ 低学年 男子62名、女子27名 高学年 男子35名、女子35名 合計159名

グループNO	対象	ゼッケン番号	人数
A	高学年男子	1 ～ 23	23 名
B	高学年男女	24 ～ 46	23 名
C	高学年女子	47 ～ 70	24 名
D	低学年男子	1 ～ 31	31 名
E	低学年男子	32 ～ 62	31 名
F	低学年女子	63 ～ 89	27 名

\* 高学年のボール投げは4グループ

\* 低学年の8の字とボール投げは4グループ それぞれのページのグループ分けを確認

選手グループが回る順番

	1	2	3	4	5
A	50M走	スパイダー	立幅跳び		
B	立幅跳び	50M走	スパイダー	ボール投げ	8の字ラン
C	スパイダー	立幅跳び	50M走		
D			50M走	スパイダー	立幅跳び
E	8の字ラン	ボール投げ	立幅跳び	50M走	スパイダー
F			スパイダー	立幅跳び	50M走

スタッフ用 選手が来る順番

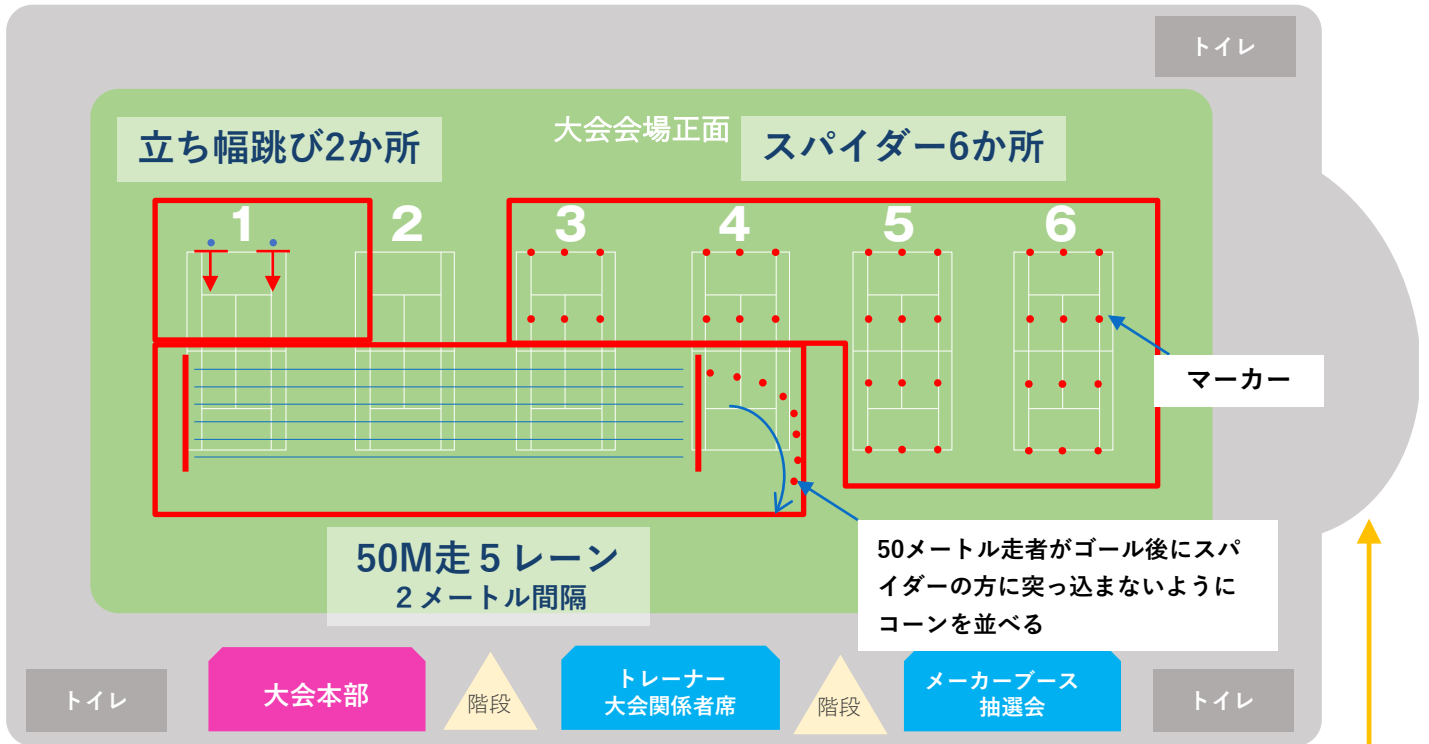
高学年	1	2	3
50M走	A	B	C
スパイダー	C	A	B
立ち幅跳び	B	C	A
ボール投げ	全員 グループはボール投げのページ確認		
8の字ラン	A→B→Cの順		

終了後、低学年はアップを行って測定を行う。高学年は2階席で待機

低学年	1	2	3
8の字ラン	全員 グループは8の字のページ確認		
ボール投げ	全員 グループはボール投げのページ確認		
50M走	D	E	F
スパイダー	F	D	E
立ち幅跳び	E	F	D

選手はこの順番に回ってくる

50M走 スパイダー 立ち幅跳び

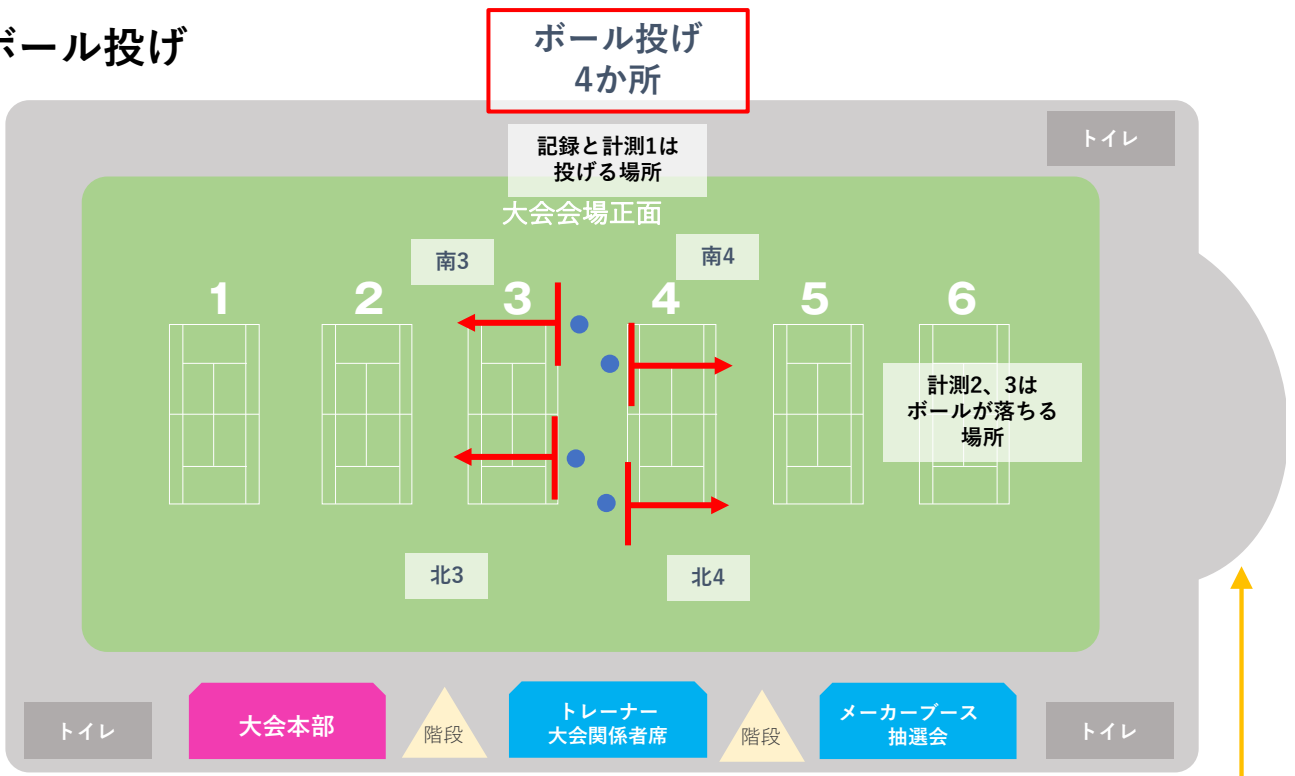


	フリー：荒井				数値入力：井上、山時			
	50m走 責任者：稲垣	スターター 平沢	判定 稲垣	記録 本村P	計測 富塚 学生	計測 山時 学生	計測 中村 学生	計測 源河 学生
5レーンで測定 記録、スターター、フライング判定、5名ストップウォッチで計測（学生5名とペアで計測）								
スパイダー 責任者：松尾	記録：茶圓P		記録：吉田P		記録：中野P			
	吉田	境	森山	林	岡部	渋谷		
6ヶ所で測定 記録は2か所の計測値を記録								
立ち幅跳び 責任者：石津	記録 有本P	計測 蔵野	計測 佐藤	記録 新井P	計測 伊丹	計測 有田		
	2ヶ所で測定 2名1組で計測、1名記録							

選手グループ 低学年男子62名、女子27名 高学年男子35名、女子35名 合計159名

グループNO	対象	ゼッケン番号			人数
A	高学年男子	1	～	23	23名
B	高学年男女	24	～	46	23名
C	高学年女子	47	～	70	24名
D	低学年男子	1	～	31	31名
E	低学年男子	32	～	62	31名
F	低学年女	63	～	89	27名

ボール投げ



責任者：岡部 全体確認：茶園P、有本P

計測1の担当者が選手に投げさせて良いかどうかスタッフ全体を確認して、選手に投げる合図を出すこと。また線を踏んでいないのかも確認する。

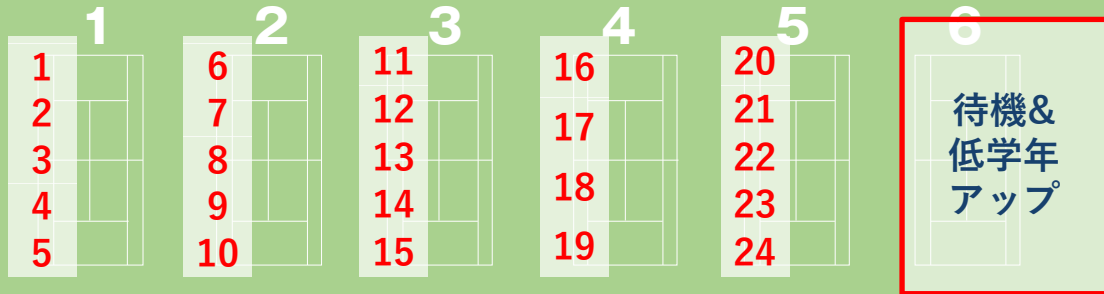
位置	記録	計測1	計測2	計測3	ボール他フォロー	
役割	採点表に記載	投げる位置でメジャー押さえ	ボールが落ちた位置を確認	ボールが落ちた位置で計測	選手にボール渡しと投げたボールの戻り対応	投げたボールを拾って、選手が投げる位置に投げて戻す
北3	本村P	平沢	松尾	林	稲垣	学生
南3	新井P	富塚	吉田	中村	伊丹	学生
北4	吉田P	石津	渋谷	有田	森山	学生
南4	中野P	岡部	境	源河	江頭	学生

位置	対象	ゼッケン番号			人数
北3	高学年	1	～	17	17名
南3	高学年	18	～	34	17名
北4	高学年	35	～	52	18名
南4	高学年	53	～	70	18名
北3	低学年	1	～	22	22名
南3	低学年	23	～	44	22名
北4	低学年	45	～	66	22名
南4	低学年	67	～	89	23名

8の字ラン

トイレ

大会会場正面



トイレ

大会本部

階段

トレーナー  
大会関係者席

階段

メーカーブース  
抽選会

トイレ

進行 : 荒井      タイムキーパーと次に入る子を呼び出し  
 整列 : 山時、学生      次に入る子整列、待機  
 アップ : 境      低学年アップ

	コート	1コート		2コート		3コート		4コート		5コート	
計測位置		1	稲垣	6	富塚	11	佐藤	16	有田	20	中村
		2	渋谷	7	平沢	12	松尾	17	石津	21	伊丹
	記録係	3	有本P	8	吉田P	13	茶園P	18	新井P	22	中野P
		4	森山	9	岡部	14	本村P	19	吉田	23	林
		5	江頭	10	源河	15	蔵野			24	山時 (3回目のみ)

記録係はそのコートの選手の回数を記録

グループNO		ゼッケン番号		人数
1	高学年	1	～ 23	23名
2	高学年	24	～ 46	23名
3	高学年	47	～ 70	24名
4	低学年	1	～ 22	22名
5	低学年	23	～ 44	22名
6	低学年	45	～ 66	22名
7	低学年	67	～ 89	23名

# 1. 立ち幅跳び 責任者：石津

## ①手順と方法

- 踏み切り線はベースラインとする。
- 両足を軽く開いて立たせ、つま先が踏み切り線の直後にくるようにする。
- 両足で踏み切り、できるだけ前方遠くへ着地する。
- 測定は踏み切り線から直角になるよう後足のかかと（ラインから最も近い着地点）までの距離を測る。
- 見本を見せた後、練習させずに計測する。
- 2回実施して各回の記録をテスト用紙に記入する

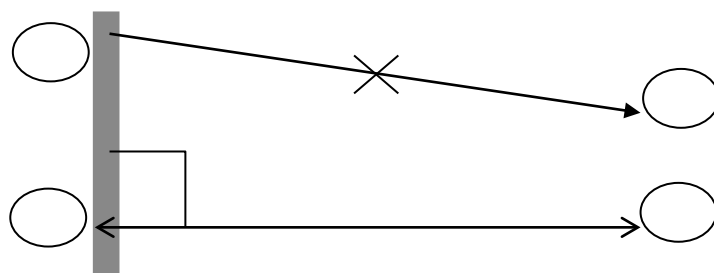
単位は1cm 端数は切り上げ 例：105.6cmの場合 106cm

## ②計測上の注意

- 踏み切る際に何度も大きく手を振って反動を利用しようとするが、その際に足が徐々に前へ移動し踏み切り線につま先が触れる（フットフォールト状態）場合があるので注意する。
- 着地時足は止まらせる（砂のコートでは正しく着地しても数センチ滑る事がある。その場合は明確に足跡が残るのでそこを着地点とする）
- 手が前方の地面に着いても可
- （ただし足は着地点から動いていない事）
- 後方に尻か手がついた場合、踏み切り線から尻もしくは手の最短記録を計測（失敗したと思い慌てて立つ選手がいるのでそのまま留まる事を説明する）

## ③配置

斜めに跳んでも、垂直に測ること



## 2. 50m 走 責任者：稲垣

### ①測定方法

スタートラインを設定する。（ゴールラインを走り抜けても安全なように配慮する）  
**スターターのホイッスルによってスタートする。**

フライング判定した場合は、ホイッスルですぐに全員止めてやり直す。

### **フライングをした選手は1回目はOK、2回目はNG**

### ②記録の取り方

選手1人に対し、2人で計測をする。値は2人の値を記入していく。

数値入力の際に平均値を記録とする。

計測の際、必ずゴールラインの横に立ち、**ゴールラインを身体の胸（手や足、頭を除く）を超えた時点で計測する。**（計測しやすい事と走者の邪魔にもならない為）

### ③実施上の注意

ストップウォッチの不具合がないか事前にテストしておく。

ストップウォッチの不具合による計測不能の場合等は、時間を少しおいてから再計測する。

ゴールライン・レーンが見えにくいので、カラーコーン等を設置する。

レーン幅は2mで作成。

2回実施して各回の記録をテスト用紙に記入する。

**単位は1 / 100秒**      **例：15.25秒**



### 3. スパイダー 責任者：松尾

#### ① 手順と方法

シングルス各ライン上とセンターマーク上にマーカーを置き（下記の図を参照）ボールを1個ずつ置く。**センターマークのマーカーは裏返しに置く。**

センターマークからスタートさせ、5個のボールをセンターマーク上に置かれたマーカーに集める

計測方法は、集めたボールをセンターマークに設置したマーカーに置いてから、次のボールへ行く

1 順目は右回りで計測し、2 順目は左回りで計測する。

**マーカーからこぼれた場合は、計測スタッフが直ぐに声をかけて、自身でボールを置き直しに戻させる。**マーカーに置かれたボールは計測スタッフが転げないのを確認して、その都度退ける。選手には手伝わせない。

**最後のボールを持った状態で、マーカーにタッチした瞬間を終了とする。**

（最後のボールはその後にボールが転げても良とする）

**見本を見せた後、練習させずに計測する。**

計測後のボールをマーカーに戻す作業は、選手に手伝わせてもOK

2 回実施して記録をテスト用紙に記入する **単位は1/100秒 例：20.56秒**

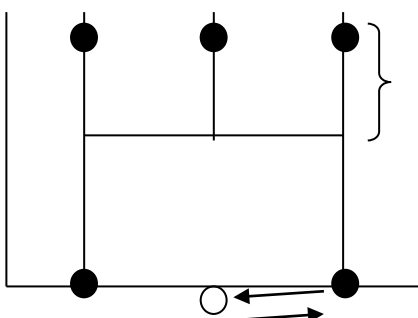
◆スターターは計測者が行う。

スターターの合図は、

①腕を上げ「よーい」

②腕を下げて(下げ切ったところで)「Go」

※スターターは選手の進行方向に立って視界に入る位置で行う。



サービスラインから  
シングルポスト3本分  
線の所ではなく、棒の全長で測る

## 4. ボール投げ 責任者：岡部

(低学年の部：ソフトボール1号、高学年の部：ハンドボール2号)

### ①手順と方法

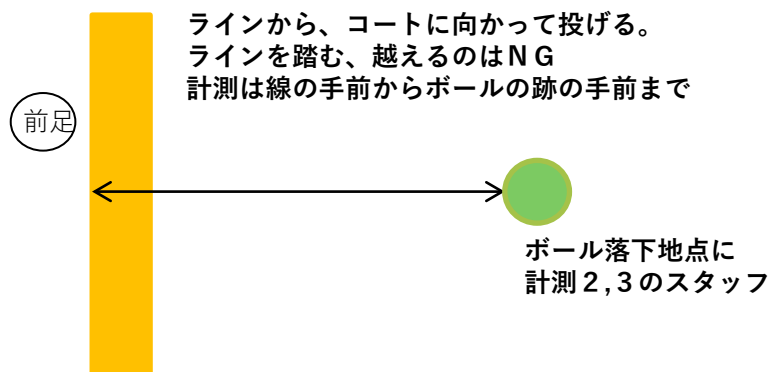
- ・肩より上から投げる。
- ・下手投げ、助走は禁止。
- ・**投球中、投球後に線を踏んだり、越した場合は記録無にする。**
- ・選手が連続で2回投球を行うのでやり直しは無し。
- ・2回とも線を踏んで記録無となった場合はそのままとする。
- ・踏み切り線の手前からボールの落下点までの距離を計測する。
- ・見本を見せてください。練習はありませんので良く肩を回してから行うようにしてください。
- ・2回実施して各回の記録をテスト用紙に記入する

**記入単位はcm単位 1cm以下端数は切り上げ 例10m56.5cm→10m57cm**

### ②配置

前側の足は固定、後ろ側の足は自由だが、線を越えないこと

計測1の担当者が選手に投げさせて良いかどうかスタッフ全体を確認して、選手に投げる合図を出すこと。また線を踏んでいないかどうかも確認する。



## 5. 8の字ラン 責任者：境

### ①手順と方法

**ホイッスルによってスタートし、3分後に終了のホイッスルが鳴る。**

シングルスライン上に、ベースラインと平行に2個ずつコーンを置く。

一方のシングルスラインからスタートさせ、2つのコーンを8の字になるように回る。

3分間計測し、何周するか計測する。コーンを回れば1と計測し、スタート時点に戻れば2となる。その後は同様に計測を続ける。図の★印（シングルスライン）まで回って1とする。★印との間で3分終了となった場合は回数に入れない。

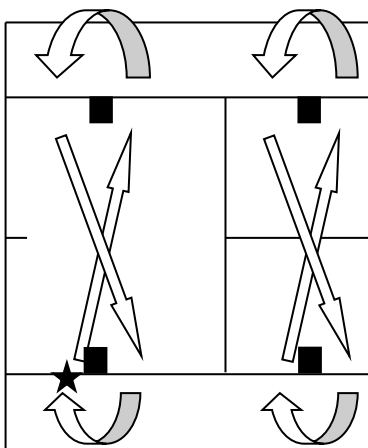
稀に途中から反対回りになる選手がいるので注意する。

**見本を見せた後、練習させずに計測する。**

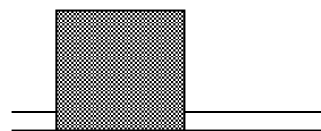
※選手同士が接触しないよう、コーンの間隔にご注意ください。

※コーンが倒れたら直してあげてください。

**※選手への応援など声かけはNGです**



コーンを置く位置  
ラインの外側に合わせて置く

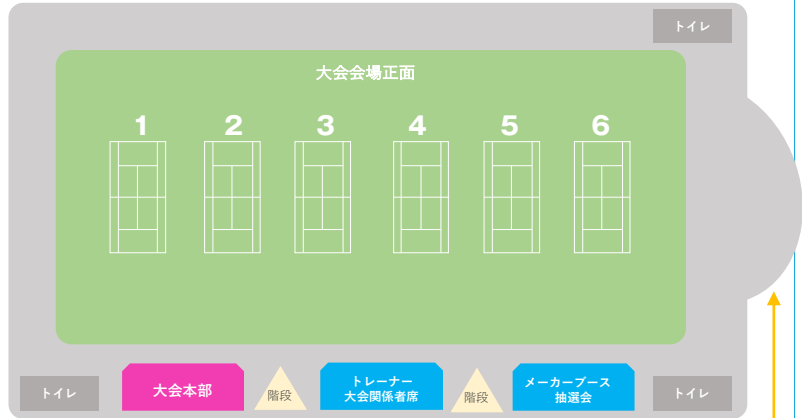


プロクリニック 26日（日） 配置

レッスン開始前に高学年、低学年で集合写真

進行：松尾      フォロー：境

低学年、高学年でわかれて、45分ずつ行う



高学年		13:30～14:15				選手70名	
コートNO	プロ	スタッフ	フォロー	選手ゼッケンNO	内訳	人数	
1	中野P	有田	稲垣	1 - 11	男子4年	11	
2	有本P	中村	江頭	12 - 23	男子5年6年	12	
3	吉田P	伊丹	渋谷	24 - 35	男子6年	12	
4	新井P	林	佐藤	36 - 46	女子4年	11	
5	茶園P	森山	源河	47-58	女子4年5年	12	
6	本村P	蔵野	吉田	59-70	女子5年6年	12	

低学年		14:15～15:00				選手89名	
コートNO	プロ	スタッフ	フォロー	選手ゼッケンNO		人数	
1	新井P	林	佐藤	1-12	男子、女子 年長、1年 グリーンボール	12	
2	茶園P	森山	源河	13-15 63-70		11	
3	本村P	蔵野	吉田	71-87	女子2年3年	17	
4	中野P	有田	稲垣	88-89 17-87	女子3年 男子2年	17	
5	有本P	中村	江頭	31-46	男子2年3年	16	
6	吉田P	伊丹	渋谷	48-62	男子3年	16	

メニュー

8分	ストレートラリー コーチ対選手 2箇所
8分	アプローチからボレー対ストローク コーチ対選手 2箇所
8分	4名でボレー合戦 コーチ2名対選手2名
10分	ダブルス形式、コーチが雁行陣 コーチ2名対選手2名

2023年2月26日（日） 15：00～15：30

会場：穴生ドーム 司会：申 アナウンサー

シーン	担当	
		表彰状、副賞・目録の確認、入賞者リスト準備（2枚）
		プロ、スタッフ整列、選手整列
開会の言葉	司会	只今より、ニュージェネレーションテニス石黒杯 第24回JPTA ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン全国大会 閉会式を行います。
理事長挨拶		始めに公益社団法人日本プロテニス協会理事長 藤沼敏則（フジヌマトシノリ）より総評をお願いします。
	司会	それでは優秀選手・最優秀選手の発表を致します。 優秀選手にはJPTA育成プログラムへの参加資格とJPTA公認企業・ヨネックス(株)からメーカーサポートが授与されます。 最優秀選手にはJPTA育成プログラム参加資格と育成強化合宿交通費の全額サポート及びメーカーサポート。さらに高学年の最優秀選手には、11月に開催される海外遠征派遣時の航空券・宿泊費の全額サポートが授与されます。 発表は全国大会委員長の荒井 英樹（アライ ヒデキ）より行います。 名前を呼ばれた選手は前に出てきてください
選手発表 賞状授与	全国大会委員長 理事長	【発表順】 低学年 優秀選手（男女） 最優秀選手（男女） 高学年 優秀選手（男女） 最優秀選手（男女） それでは日本プロテニス協会理事長藤沼敏則（フジヌマトシノリ）より賞状・目録・副賞を授与いたします。
特別審査員 あいさつ	司会	最後にプロプレーヤー特別推薦を発表します。 今大会特別審査員としてご協力いただきました各プロ選手の皆様に、何か光るものを感じた選手を推薦して頂くものです。 このプロ推薦には、JPTA育成強化メンバーとしての登録資格が与えられます。発表は審査委員長の茶園 鉄也（チャエン テツヤ）より頂きますが、その前に、特別審査員のプロプレーヤーの皆様より一言ずつ頂きたいと思えます。
プロ推薦発表	審査委員長	【発表順】低学年の部、続いて高学年の部 低学年、高学年、1名ずつ代表者に賞状を渡す。それ以外の選手は後ほど一斉に
副会長挨拶		杉山愛副会長に一言いただきます。
写真撮影		それでは最優秀選手、優秀選手は写真撮影を行いますので、バナーの下へお集まりください。
	司会	ゼッケンを回収する事を伝え、スタッフに集めてもらう。 皆さんには、審査表をお渡しいたしますので必ずお受取の上お帰り下さい。

政府指針		大会時の具体策
<b>1 徹底した感染防止等</b>		
①	<b>マスク常時着用の担保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求める。</li> <li>* マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク100%を担保。</li> </ul>
②	<b>大声を出さないことの担保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができるもの。</li> <li>* 隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提）</li> <li>* 演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）</li> </ul>
<b>2 基本的な感染防止等</b>		
③	<b>①～②の奨励</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～②は、イベントの性質に応じて可能な限り実行（ガイドラインで定める）</li> <li>* マスク着用状況が確認でき、着用していない場合は個別に注意等を行うこと</li> <li>* 大声を出す者がいた場合等、個別に注意等を行うこと（例：スポーツイベント等ではラッパ等の鳴り物を禁止すること等）</li> </ul>
④	<b>手洗</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな手洗の奨励</li> </ul>
⑤	<b>消毒</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者側による施設内（出入口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒</li> </ul>
⑥	<b>換気</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令等を遵守した空調設備の設置、こまめな換気</li> </ul>
⑦	<b>密集の回避</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退場時の密集回避（時間差入退場等）、待合場所等の密集回避</li> <li>* 必要に応じ、人員の配置、導線の確保等の体制を構築するとともに、入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、収容人数を制限</li> </ul>
⑧	<b>身体的距離の確保</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保</li> <li>・混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔）</li> </ul>
		<p>ポップの貼り出し、参加者へ配布 スタッフへの徹底、随時アナウンス</p> <p>貼り出し 大会本部に感染防止のパネルなどの準備</p> <p>貼り出し</p> <p>各コート入口に手を除菌するための消毒液を配置 本部、スタッフルームを定期的に消毒する 鼻水・唾液等が付着したごみは適切に処理する。 （ビニール袋で密閉、回収後の手洗い等）</p> <p>大会本部の換気</p> <p>試合の受付、OPはHPに掲載し、参加賞もコート横に設置したロービング機にて渡す。試合敗退後はすみやかに会場を離れてもらう※別途配置図を参照</p> <p>観覧席は距離を空けて座ってもらうよう観覧席に貼り出し 大会本部付近も間隔を開けるよう貼り出し</p>

⑨	<b>飲食の制限</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限</li> <li>・ 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底</li> <li>・ 過度な飲酒の自粛</li> <li>・ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、収容率が50%を超える場合、飲食可能エリア以外（例：観客席等）は原則自粛。</li> </ul>	<p>大会会場内での飲食は観覧席は可能とするが、飲食時の会話を控えていただく、他の方と距離を保っていただくなどの注意書きを貼り出し</p>
⑩	<b>参加者の制限</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置</li> <li>*ただし、発熱者・有症状者の入場は断る等のルールをイベント開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要。</li> </ul>	<p>選手と付添いのみ名札を事前に郵送。名札着用者のみ会場に入れるようにする。参加前にwebに体調管理、付添い者の連絡先、体調管理を入力してから参加してもらうよう徹底。その際に該当項目に当てはまる場合、参加は控えてもらうとするが、払い戻しは行わない。</p>
⑪	<b>参加者の把握</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握</li> </ul>	<p>選手1名に対し、付添いを2名に限定し、webに付き添い者の氏名・連絡先を入力してもらい、把握する</p>
⑬	<b>催物前後の行動管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント前後の感染防止の注意喚起</li> <li>*可能な限り、予約システム、デジタル技術等の活用により分散利用を促進</li> </ul>	<p>開催後の感染が分かった場合は協会へ連絡をしてもらうよう案内</p>
⑭	<b>ガイドライン遵守の旨の公表</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者及び施設管理者が、業種別ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表</li> </ul>	<p>大会HPにコロナ対策のガイドラインを掲載予定</p>
<b>3 イベント開催の共通の前提</b>			
⑮	<b>入退場やエリア内の行動管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域的なこと等により、入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討</li> <li>* 来場者の区画を限定、管理した花火大会などは可。具体的には、①身体的距離の確保、②密集の回避、③飲食制限、④大声禁止、⑤催物前後の行動管理、⑥連絡先の把握等を担保することが求められる。</li> </ul>	<p>選手と付添いのみ、名札を事前に送付。名札着用者のみの大会会場への入場にし、入場者の制限を行う。 付添者氏名、連絡先、体調管理についても、当日のWEB入力を入力を行ってもらう。</p>
⑯	<b>地域の感染状況に応じた対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模イベントは、事前に収容率制限等も含めて都道府県と相談</li> <li>・ 地域の感染状況の変化があった場合は柔軟に対応</li> </ul>	<p>福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 まん延防止班に相談済</p>

## 大会スタッフの健康管理について

- 大会を運営する上で、スタッフの体調管理をwebで行います。
- 以下の事項に該当する場合は、早目に事務局へ連絡し、スタッフとしての参加を見合わせてください。
  - 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 全国大会までに以下のことを行い、スタッフとして参加する日ごと、毎朝8：00までにWEB確認入力を行い、申告のご協力をお願いします。
- <https://ws.formzu.net/dist/S37597344/>

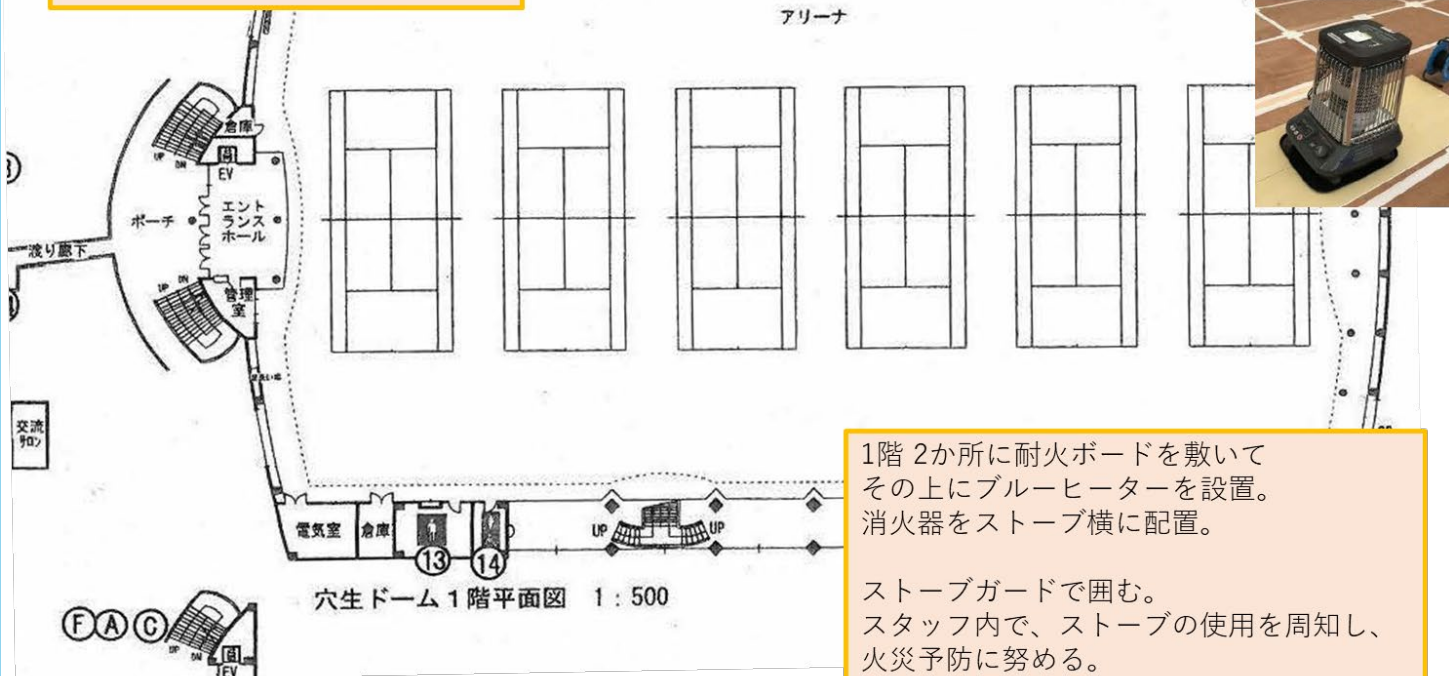
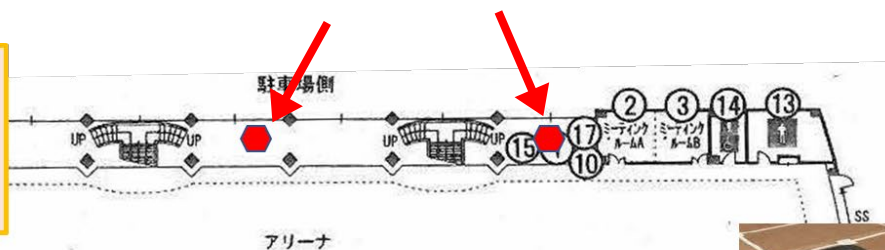


- 全国大会1週間前から当日の朝まで自宅で検温を行い、平熱であるか確認を行うこと。
- スポーツ庁と日本テニス事業協会が発信したガイドラインも一読しておいてください。

## ストーブ設置注意事項

大会中に穴生ドーム内、ストーブを2か所に設置しています。  
火災予防にご協力をお願いします。

ブルーヒーター設置時期  
2023年2月24日～26日  
3日間使用  
設備会社：大洋装備株式会社より  
レンタル



1階 2か所に耐火ボードを敷いて  
その上にブルーヒーターを設置。  
消火器をストーブ横に配置。

ストーブガードで囲む。  
スタッフ内で、ストーブの使用を周知し、  
火災予防に努める。